

既存忠魂碑①吉槻

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠霊		位置図 	
建立年月日	昭和32年12月(再建)			
所在地	米原市吉槻			
土地名義	—			
説明	日露～大東亜戦争に至る東草野学区戦没者を慰霊顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、県道から旧東草野小中学校の入口へ続く道路沿いに位置する。 6.7m×6.90mの平場内に高さ約80cm程度の自然石の石積みがある。 忠魂碑は50cm角、高さ2.6mで忠魂碑の下には自然石の基礎(1.7m×1.2m)がある。 忠魂碑の前面には、高炉と花立て2本が設置されている。			
主な施設	忠魂碑,石積み,香炉,花立て2基,外周柵			
調査項目			平面図	
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 有 ☒ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 有 ☒ 無	
	その他の傷み	有	☐ 有 ☒ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 有 ☒ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 有 ☒ 無	
	その他の傷み	有	☐ 有 ☒ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有	☐ 有 ☒ 無	
	石碑の傷み	有	☐ 有 ☒ 無	
	その他の傷み	☒ 有	☐ 有 ☒ 無	
コメント	忠魂碑は、経年劣化により、黒い汚れ(水垢)が目立つ状態であったが、ひび割れなどの損傷箇所は無い。基礎部には、部分的に一部白い斑点(コケ)を確認した。 香炉についても、経年劣化による汚れを確認したが目立った損傷箇所は無い。 向かって左側の花立ての傾きを確認した。 玉垣には、経年劣化による黒い汚れ(水垢)を確認した。また、前面の柱が倒れていた。			

既存忠魂碑調査表



全景



背面



忠魂碑



忠魂碑(背面)



石積み・忠魂碑基礎部



香炉・花立て



玉垣



忠魂碑基礎部の斑点



玉垣損傷箇所

既存忠魂碑②上野

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	昭和23年3月10日			
所在地	米原市上野 伊吹小学校北側			
土地名義	坂田郡伊吹村			
説明	日露～大東亜戦争に至る伊吹学区戦没者を慰霊顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、伊吹小学校グラウンド北東の斜面部に位置する。 忠魂碑とグラウンドには、約2.5mの高低差があり、忠魂碑までは階段が整備されている。 階段を上ると、5.8m×6.8mの平場があり、平場の中央には、3.7m×3.7m高さ1.6mの石積み の基壇がある。基壇の外周には、砲弾を象った玉垣(H=1.1m)が設置されている。 忠魂碑は65cm角、高さ4.7mで、忠魂碑の下には基礎が3段(合計H=1.6m)が積まれている。			
主な施設	忠魂碑,基壇,階段2箇所,玉垣,瑞垣,石積み,景石,石碑			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	有	☐ 無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
コメント	全ての構造物について、ひび割れ等の損傷箇所は無いが、全体的に白や緑の斑点(コケ)、黒い汚れ(水垢)が目立つ。			

既存忠魂碑調査表



全景



瑞垣・石積み・景石



忠魂碑



忠魂碑(側面)



石碑



玉垣・基壇



忠魂碑基礎部

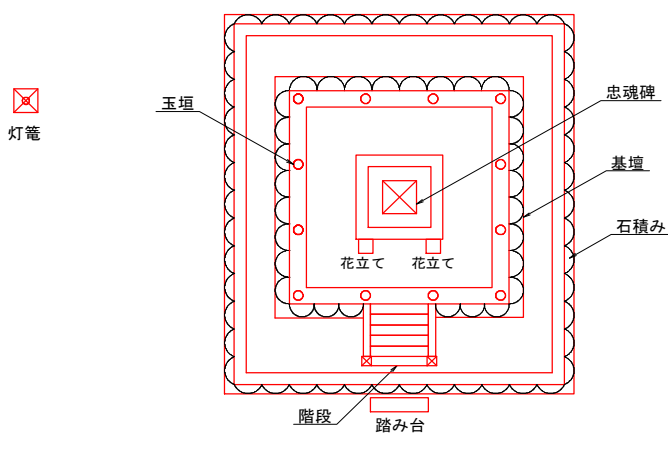


基壇の汚れ



忠魂碑の汚れ

既存忠魂碑③杉澤

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	昭和3年11月10日			
所在地	米原市杉澤 春照小学校東側			
土地名義	坂田郡春照村			
説明	日露～大東亜戦争に至る春照学区戦没者258柱を慰霊顕彰する。町の給食センター建設のため現在地に移築。			
概要	本忠魂碑は、春照小学校東側に位置する。 樹木で囲われた敷地内に墓地と忠魂碑が整備されている。 忠魂碑は、石積み1段、高さ0.5m程度の平場内(6.9m×7.7m)にある。 平場の中央には、4.6m角、高さ1.1mの石積みの基壇があり、外周には砲弾を象った玉垣(H=0.9m)が設置されている。 忠魂碑は70cm角、高さ3.6m程度で、その下には高さ2.1mの基礎がある。 忠魂碑から少し離れた位置に灯籠がある。			
主な施設	忠魂碑,基壇,階段,玉垣,花立て2基,灯籠1基			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有	無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
コメント	忠魂碑本体の汚れは比較的少ないが、基礎部には黒い汚れ(水垢)や白い斑点(コケ)が目立つ。 基壇及び灯籠、階段については、経年劣化による汚れを確認したが目立った損傷箇所は無い。 玉垣は黒い汚れ(水垢)が目立ち、一部損傷箇所を確認した。 花立ては斑点(コケ)が目立つ状態である。			

既存忠魂碑調査表



全景



背面



忠魂碑



玉垣



灯籠



花立て



基壇



忠魂碑基礎部の汚れ



玉垣損傷箇所

既存忠魂碑④柏原

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正5年11月 昭和27年8月15日再建			
所在地	米原市柏原 成菩提院			
土地名義	成菩提院			
説明	日露～大東亜戦争に至る戦没者を慰霊・顕彰する。 東照山山頂に建設されたが、参拝に支障があり、この場所に再建。			
概要	本忠魂碑は、成菩提院の南西に位置し、前面の道路とは約3.6mの高低差があり、忠魂碑までは階段が整備されている。階段上り口には灯籠が2基、階段途中の斜面には石碑があり、階段を上ると、忠魂碑、灯籠、刻銘版が設置されている。 忠魂碑は70cm角、高さ2.9m程度で、その下に2段の基礎(合計H=60cm)が積まれている。基壇は高さ1.6m程度で六角形の形状をしており、この基壇を囲うように4基の灯籠が配置されている。基壇の隣にある刻銘版(幅3.0m、高さ1.2m)には、柏原学区の戦没者172名の名前が刻まれている。			
主な施設	忠魂碑、基壇、刻銘版1基、階段2箇所、灯籠6基、玉垣、瑞垣			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有	無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有	無	
コメント	忠魂碑及び灯籠は、経年劣化による汚れを確認したが目立った損傷箇所は無い。 忠魂碑前面の階段にひび割れや部分的に沈んでいる箇所を確認した。 基壇の天端や石積み部分にひび割れや目地の開きを確認した。 刻銘版は比較的石材の状態が良く、汚れも少ない。			

既存忠魂碑調査表



全景



刻銘版



忠魂碑



灯籠



階段



階段沈下箇所



基壇天端のひび割れ箇所



基壇の目地の開き

既存忠魂碑⑤市場

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正10年頃			
所在地	米原市市場 JALレーク伊吹 山東支店東側			
土地名義	—			
説明	日露～大東亜戦争に至る大原学区の戦没者を慰霊・顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、JALレーク伊吹山東支店東側の県道509号沿いに位置する。石畳の参道の先に、石積み2段、約6.0m角の平場の中に忠魂碑、灯籠(H=1.6m)2基、刻銘板が設置されている。平場の外周には砲弾を象った玉垣が設けられている。忠魂碑は75cm角、高さ4.0m程度で、忠魂碑の下には2段(合計約0.6m)の基礎がある。忠魂碑の背面には「供養塔」の文字が刻まれている。忠魂碑は、石積みの基壇(3.3m角、高さ1.5m)の中にあり、基壇の外周には高さ0.8mの瑞垣が設けられている。忠魂碑の隣にある刻銘板(幅3.8m、高さ1m)には、大原学区の戦没者182名の名前が刻まれている。			
主な施設	忠魂碑、基壇、玉垣、階段、灯籠2基、刻銘板、外周柵、看板			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	有	☐ 無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有	無	
コメント	忠魂碑、基壇及び灯籠については、経年劣化により、多少の汚れはあるものの傷みや割れなどの損傷箇所は無い。 門扉は、部分的に腐食が進行し縦格子が破損している。 刻銘板に目立った損傷箇所は無いが、経年劣化により文字が薄れている。 玉垣の柱に補修箇所を確認した。			

既存忠魂碑調査表



全景



刻銘版



忠魂碑(背面)



灯籠



階段



瑞垣



玉垣



門扉破損箇所

既存忠魂碑⑥志賀谷

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正15年4月 昭和41年11月16日移築			
所在地	米原市志賀谷			
土地名義	志賀神社			
説明	日露～大東亜戦争に至る東黒田学区の戦没者を慰霊・顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、金刀比羅神社北側の道路沿いに位置する。県道から階段を上ると参道があり、その先に石積み2段の平場があり、その中に忠魂碑、灯籠、刻銘板が整備されている。 忠魂碑の高さは5.5m程度で、基礎部は収納庫を設けた形状となっている。基壇は5.5m角、高さ0.8mの石積みで、外周には砲弾を象った玉垣(H=0.8m)が設置されている。基壇の前には、高さの異なる2種類(H=1.8m, 1.1m)の灯籠が2基ずつ設けられている。刻銘板(幅4m, 高さ1.1m)には、東黒田学区の戦没者198名の名前が刻まれている。			
主な施設	忠魂碑, 基壇, 灯籠4基, 階段, 花立て, 刻銘板, 玉垣			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有	無	
その他	外柵・基壇の傷み	有	☐ 無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有	無	
コメント	忠魂碑に割れなどの損傷箇所は無いが、経年劣化による黒い汚れ(水垢)が目立ち、「忠魂碑」の文字が見えにくくなっている。 基壇についても、汚れはあるものの、目立った損傷箇所は無い。 灯籠は4基中1基が損壊していたが、その他3基は汚れは少なく、目立った損傷箇所も無い。 刻銘板は、経年劣化による汚れや文字の薄れ、ひび割れを確認した。			

既存忠魂碑調査表



全景



忠魂碑



灯籠(大)



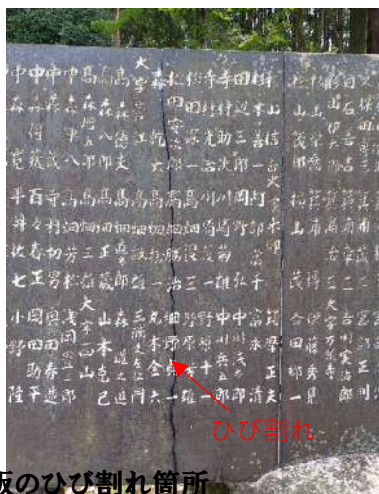
灯籠(小)



基壇



刻銘版



刻銘板のひび割れ箇所



損壊している灯籠

既存忠魂碑⑦枝折

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正7年10月31日			
所在地	米原市枝折 河南小学校北側(旧醒井小学校北側)			
土地名義	坂田郡醒井村			
説明	醒井学区内の戦没者を慰霊・顕彰する。 名神高速道路建設に伴い現在の場所に移築。			
概要	本忠魂碑は、河南小学校グラウンド北側に位置する。 小学校グラウンド沿いの道路を進んだ先にある階段を上ると、忠魂碑、灯籠(H=1.8m)、献花台が設置されている。 忠魂碑は、80cm角、高さ5m程度で、忠魂碑の下には1.5m角、高さ0.4mの基礎がある。 基壇は、2.7m角、高さ1.1m程度で、外周には高さ0.7mの玉垣が設けられている。 忠魂碑の前に灯籠2基と自然石の献花台(1.8m×0.9m,H=0.5m)がある。			
主な施設	忠魂碑,基壇,灯籠2基,玉垣,献花台			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有	無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有	無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
コメント	忠魂碑にひび割れなどの損傷箇所は無く、汚れも他の忠魂碑に比べて少ない。 基壇の目地の開き、天端石のずれ、ひび割れを確認した。 玉垣にひび割れを確認した。また、玉垣の柱と柱を繋ぐ鋼材が取り外されている。 灯籠は経年劣化による風化が進み、表面がボロボロとしている。			

既存忠魂碑調査表



全景



忠魂碑前面



側面



風化が進んでいる

灯籠



献花台



天端石のずれ

目地の開き

天端石のずれ、基壇の目地の開き



目地の開き

基壇の目地の開き



天端石のひび割れ箇所

ひび割れ



ひび割れ

玉垣のひび割れ箇所

既存忠魂碑⑧三吉

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正14年3月 昭和15年3月移築 昭和62年8月再移築			
所在地	米原市三吉 米原地域福祉センターゆめホール駐車場内 (旧息郷小学校跡地)			
土地名義	坂田郡息郷村			
説明	日清～日露～大東亜戦争に至る息郷学区の戦没者を慰霊・顕彰する。			
概要	本忠魂は、福祉センター駐車場内の南西角に位置する。駐車場から1段上がった平場の中に忠魂碑・灯籠・景石・樹木などが整備されている。平場中央には、4.5m角、高さ1.2m程度の基壇があり、その中に忠魂碑と記念碑がある。忠魂碑は70cm角、高さ5m程度で、その下には基礎が2段(合計H=1.0m)積まれている。忠魂碑の裏側には、息郷学区の戦没者108名の名前が刻まれた刻銘版が取り付けられている。基壇外周には、砲弾を象った玉垣が設けられている。			
主な施設	忠魂碑,基壇,石碑2基,灯籠2基,階段,外周柵,景石			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐	
	石や目地の割れ	有	☐	
	その他の傷み	有	☐	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐	
	石や目地の割れ	有	☐	
	その他の傷み	有	☐	
その他	外柵・基壇の傷み	有	☐	
	石碑の傷み	有	☐	
	その他の傷み	有	☐	
コメント	忠魂碑、灯籠、石碑、玉垣は、比較的石材の状態が良く、汚れも少ない。基壇については、経年劣化による黒い汚れ(水垢)を確認したが、傷みなどの損傷箇所は無い。			

既存忠魂碑調査表



正面



側面



忠魂碑



忠魂碑(背面)



記念碑・玉垣



刻銘版



基壇



灯籠



階段

既存忠魂碑⑨米原

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	大正4年秋			
所在地	米原市米原 湯谷神社境内遊園地内			
土地名義	湯谷神社			
説明	米原学区の戦没者を慰霊・顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、湯谷公園の南側に位置する。 参道の先に忠魂碑が整備されており、参道の両側には灯籠が配置されている。 石積み一段程度上がった平場中央に、2.8m角、高さ1.5mの石積みの基壇があり、その中に忠魂碑がある。 忠魂碑は、75cm角、高さ3.1m程度で、忠魂碑の下には2段の基礎(合わせてH=2.2m)がある。 下段の基礎には60cm×70cm,H=50cmの収納庫を設けた形状となっていた。			
主な施設	忠魂碑,基壇,階段,灯籠7基,玉垣			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	無	
	石や目地の割れ	有	無	
	その他の傷み	有	無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	無	
	石や目地の割れ	有	無	
	その他の傷み	有	無	
その他	外柵・基壇の傷み	有	無	
	石碑の傷み	有	無	
	その他の傷み	有	無	
コメント	忠魂碑及び基礎には、経年劣化による黒い汚れ(水垢)を確認した。 基壇についても、汚れはあるものの傷みや割れ等の損傷箇所は無い。 灯籠は経年劣化により、表面が少し風化していた。 門扉は錆が進行しており、開閉がしづらい状態であった。			

既存忠魂碑⑨米原

既存忠魂碑調査表



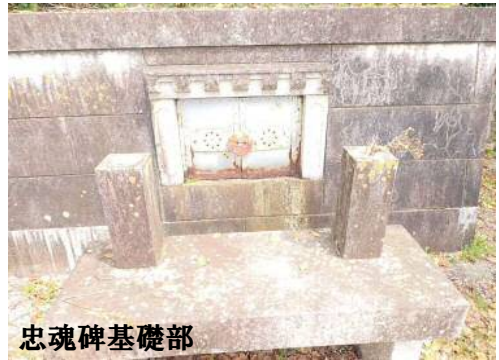
正面



忠魂碑



側面



忠魂碑基礎部



階段



基壇



忠魂碑



灯籠

風化が進んでいる。

既存忠魂碑⑩能登瀬

既存忠魂碑調査表			
碑銘	忠魂碑		位置図
建立年月日	大正10年3月		
所在地	米原市能登瀬 息長小学校南西角		
土地名義	—		
説明	日露～大東亜戦争に至る息長学区の戦没者を慰霊・顕彰する。		
概要	本忠魂碑は、息長小学校南西角に位置する。 県道247号沿いにある階段を上った先に忠魂碑と灯籠(H=1.7m)2基が整備されている。 忠魂碑の高さは5.8m程度で、基礎部には収納庫を設けた形状となっている。 基壇は4.5m角、高さ0.75mの石積みで、外周には砲弾を象った玉垣(H=0.8m)が設置されている。		
主な施設	忠魂碑,基壇,灯籠2基,玉垣		
調査項目			平面図
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有 ・ ☐ 無	
	石や目地の割れ	☒ 有 ・ 無	
	その他の傷み	有 ・ ☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有 ・ ☐ 無	
	石や目地の割れ	有 ・ ☐ 無	
	その他の傷み	有 ・ ☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有 ・ 無	
	石碑の傷み	有 ・ ☐ 無	
	その他の傷み	有 ・ ☐ 無	
コメント	忠魂碑自体の汚れは比較的少ないが、忠魂碑の基礎部に白い斑点(コケ)とひび割れ確認した。 基壇の天端石には、ひび割れや補修箇所を確認。また、基礎部と同じく、部分的に白い斑点(コケ)が目立つ。 灯籠は汚れも少なく、目立った損傷箇所は無い。		

既存忠魂碑調査表



全景



忠魂碑(背面)



忠魂碑(側面)



灯籠



基壇



基礎部のひび割れ箇所



基壇天端石ひび割れ箇所



基壇天端石補修箇所

既存忠魂碑⑪顔戸

既存忠魂碑調査表				
碑銘	忠魂碑		位置図 	
建立年月日	明治43年9月			
所在地	米原市顔戸 日撫神社境内			
土地名義	日撫神社			
説明	日露～大東亜戦争に至る旧日撫村学区(顔戸、高溝、舟崎)出身の戦没者を慰霊・顕彰する。			
概要	本忠魂碑は、日撫神社入口の鳥居西側に位置する。 通路を抜けた先に忠魂碑、灯籠2基、刻銘板がある。 忠魂碑は65cm角、高さ4.9m程度で、その下に1.4m角、高さ0.4mの基礎がある。 忠魂碑の隣にある刻銘板(幅0.5m,高さ0.7m)には、旧日撫村学区の戦没者43名の名前が刻まれている。 基壇は、3.7m角、高さ1.8mの石積みで、外周には高さ0.7mの玉垣が取付けられている。 また、基壇の裏には、30cm角、高さ40cm程度の石が積まれている。			
主な施設	忠魂碑,基壇,刻銘板,階段,灯籠2基,玉垣,石材4個,看板			
調査項目		平面図		
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有	☐ 無	
	石や目地の割れ	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	☒ 有	☐ 無	
	石碑の傷み	有	☐ 無	
	その他の傷み	有	☐ 無	
コメント	忠魂碑、刻銘板、灯籠については、石材の状態も良く、汚れも少ない。 基壇については、汚れは少ないが、目地の開きと天端石のずれを確認した。			

既存忠魂碑調査表



全景



灯籠



刻銘板



忠魂碑



忠魂碑(側面)



階段



石材



基壇の目地の開き



基壇で天端石のズレ

既存忠魂碑⑫宇賀野

既存忠魂碑調査表			
碑銘	忠魂碑		位置図 ● 既存忠魂碑 ● 米原市役所
建立年月日	昭和7年9月		
所在地	米原市宇賀野 坂田小学校南西角		
土地名義	滋賀県米原市		
説明	日露～大東亜戦争に至る坂田学区戦没者を慰霊・顕彰する。終戦時一時、長沢の福田寺へ移設、現在地に復元されている。		
概要	本忠魂碑は、坂田小学校の南西角に位置する。 石積み2段(9m角、高さ0.9m)の広場内に忠魂碑、灯籠、樹木が整備されている。 忠魂碑は、70cm角、高さ5.5m程度で、その下には1.6m角、高さ0.3mの基礎がある。 忠魂碑の基礎は、収納庫を設けた形状となっており、中には刻銘板が収納されていた。 基壇は5.5m角、高さ1.2mの石積みで、外周には砲弾を象った玉垣(H=0.7m)が設置されている。 基壇の前面には灯籠が2基設置されており、背面には低木が植えられている。		
主な施設	忠魂碑,基壇,刻銘板,階段,灯籠2基,玉垣		
調査項目			平面図
忠魂碑	傾き・基礎の沈下	有 ・ ☐ 無	
	石や目地の割れ	有 ・ ☐ 無	
	その他の傷み	有 ・ ☐ 無	
灯籠	傾き・基礎の沈下	有 ・ ☐ 無	
	石や目地の割れ	有 ・ ☐ 無	
	その他の傷み	☒ 有 ・ 無	
その他	外柵・基壇の傷み	有 ・ ☐ 無	
	石碑の傷み	有 ・ ☐ 無	
	その他の傷み	有 ・ ☐ 無	
コメント	忠魂碑自体の汚れは比較的少ないが、土台部分に黒い汚れ(水垢)を確認した。 基壇は、経年劣化による汚れを確認したが、目立った損傷箇所は無い。 灯籠は、経年劣化による風化が進み、表面がボロボロとしている。		

既存忠魂碑調査表



全景



背面



忠魂碑

風化が進んでいる。



灯籠



階段



基壇



忠魂碑土台部分



刻銘板